

第2回あんなか景観まちづくり賞の 授賞式を開催します

問い合わせ
まちづくり部都市計画課計画係
TEL027-382-1111(内線1211)



第2回あんなか景観まちづくり賞の授賞式を開催します

日 時	11月22日(金)午後4時～
場 所	安中市役所 303会議室
参加者	授賞者
表 彰	優秀賞 2件(表彰状と楯を授与) 奨励賞 3件(表彰状を授与)
内 容	表彰状と楯を授与し、授賞者、安中市景観審議会会長、市長との対話を実施予定



▲ 記念品(自性寺焼の楯)

パンフレットを作成し、広く周知します

第2回

あんなか景観まちづくり賞

表彰作品集
(令和6年度)

ごあいさつ



安中市
市長
若杉 均

日頃より、安中市の景観行政にご協力いただき、心より御礼申し上げます。
本市では、市民・事業者の景観まちづくりに対する意識醸成を図るため、昨年度にあんなか景観まちづくり賞を創設しました。

第2回目となる今年度は、当表彰制度を発展させるため、いくつかの改良を行いました。

まず、建築物より広い視点である空間的な景観価値について評価するため、昨年度までの建築物部門の応募対象を拡張し、名称をまちなみ空間部門へと改めました。

また、表彰区分として、どのような景観的な価値がより優れた評価をされるのかを明らかにするため、優秀賞と奨励賞の区分を設け、市のホームページにおいて、評価の視点を公開してまいりました。

このような改良を加えた第2回あんなか景観まちづくり賞として、優秀賞を2件、奨励賞を3件授与します。

当表彰制度は、受賞された皆様方をはじめとした市民・事業者とともに、これからもますます発展させながら、「あんなか」らしい景観を守り育んでまいります。

終わりになりますが、選考にあたり貴重なご意見をいただいた安中市景観審議会の皆様方をはじめ、ご応募いただきました皆様方、景観行政にご協力いただいている市民・事業者の皆様方に心から感謝を申し上げ、あいさついたします。

講評



安中市景観審議会
会長
杉浦 榮

第2回あんなか景観まちづくり賞を受賞された皆様、おめでとうございます。
本年も、安中市の素晴らしい景観資源を表現した空間や育み活かす活動など、多様な応募が市民の皆様から寄せられました。

初年度である昨年の審査委員会での真摯な協議や議論などを踏まえ、今年度からは空間全体を対象を広げる部門設定や、より明確となった評価基準をもとに審査を行いました。その結果、「まちなみ空間部門」としては優秀賞1点、奨励賞2点、「まちづくり活動部門」としては優秀賞1点、奨励賞1点が選考されました。

2部門は空間表現と育成活動のいずれかに力点を置くかという視点により分けられていますが、それぞれが分かち難く結びつき、相互に関係し支え合うものであることを鑑み、評価基準には空間と活動が相互に良い影響を与え合うかどうかという点も盛り込まれています。

優秀賞となった2点は、空間と活動が相互に寄与し総合的な影響力を高めており、より完成度の高い豊かな景観が形成され活用されている点が評価されました。

今後も本賞を通して市民の皆様の景観意識が高まり、安中市らしい景観資源が継承され、より良い景観文化やまちなみが醸成されていくことを期念しております。



優秀賞

動画でもご覧いただけます▶



まちなみ空間部門



所有者 高橋博文
設計者 一般建築士事務所 株式会社 米田博雄建築研究所
施工者 株式会社 津久井工務店・西澤工業 株式会社・株式会社 高崎松風園

高橋邸と蔵

令和6年、飯草二丁目の旧中山道沿いに歴史を感じられるまちなみ空間が創られました。正面に格子を施した新築の住居や蔵に設けた水辺や緑のある空間は、その秀逸なデザインもさることながら、飯草宿の歴史や周辺のまちなみに調和した質の高い空間です。また、リノベーションした築140年の蔵に本やアートを設置し、いつでも気軽に休憩や談話できるよう開放している点も高く評価します。今後、さらに地域での交流を活性化していただき、飯草宿を代表するまちなみ空間のひとつとして、愛者が育まれていくことを期待します。



まちづくり活動部門



碓氷峠鉄道再生研究会

松井田町駅本にある碓氷線廃線後の荒れた線路敷を1.2kmにわたり6年間整備し続けています。整備により蘇った景観は、線路敷からの自然の景観という非常に希少な自然景観があります。人が歩けるほど整備されたことで、安中市観光機構主催の廃線ウォークなどに活用され、市内外から訪れる多くの人々に景観を楽しんでいただき、地域を代表する景観となりました。今後も活動を継続していただき、さらに多くの人にこの景観を体験してもらいたいです。

奨励賞

動画でもご覧いただけます▶



まちなみ空間部門



所有者 中山 公平・設計者・施工者 不明

そば処 田舎や

砂義山の麓、松井田町行田に江戸時代末期の代官屋敷を現代まで結ぐ、お蕎麦屋さんがあります。悠久の時の流れを感じられる母屋だけでなく、石垣づくりや堀や蔵もあわせて、風情ある空間を創り出しています。また、壮大な砂義山を背景に、敷地内に多くの緑を配置することで、自然的景観の調和に配慮されている点も評価に値します。今後も、多くの人々にこの空間に訪れていただき、歴史的・自然的景観のすばらしさを感じていただくためにも、この景観を永く守り続けてください。



所有者 千木良幸江・北沢勝江・設計者 一般建築士事務所 野橋基子設計室・施工者 野橋建設 株式会社

門前邸の家

令和6年、飯草の寺町の門の脇にまちなみと調和した住宅が完成しました。人通りが多い場所に立地していることをふまえたうえで、周辺のまちなみと色彩が調和している点や圧迫感を抑えるために低めに設置した屋根、緑を取り入れた優しいデザインの空間を評価しました。これからは寺町の門との連続性にも配慮していただければ、周辺のまちなみとともにさらに良好な景観のまちなみへと発展することを期待します。

まちづくり活動部門

金谷戸支えあい隊

東上線部の金谷戸自治会で地域の景観を「支えあい」により保全する活動を行っています。125世帯程度が生活するこの区域では、高齢化や空き家の増加で管理が困難な住宅や農地が増えました。そこで、景観や安全を共同で守るため、令和4年に住民の有志でこの隊を発見させ、除草、草刈り、地域での声掛けなどを行っています。これからは、若い人にも参加していただき「支えあい」の輪が広がっていくことを期待します。



原則、外観より見学していただき、許可なく私有地に入らないようご注意ください。

令和6年11月 安中市発行 (担当 都市計画課 TEL027-382-1111)

